

2018年1月29日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

**慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ  
シンポジウムのご案内**  
『ここから地方創生 xSDG を語り始める』

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) は、持続可能な地球社会へ向けた変革を「誰ひとりとして取り残さ」ず実現するために、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。発展途上国と先進国が力を合わせ、あらゆる主体が取り組んではじめて達成可能な、2030年へ向けた目標なのです。そのエッセンスは、例えば企業や地方自治体といった多様な主体が行う活動に、SDGsを「掛け合わせ」てコラボレーションを行うことで、これまでできなかったことを実現していくことにあります。慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ (エックス SDG・ラボ) は、こうしたコラボレーションによる研究によって社会課題を解決するために生まれました。

今回のシンポジウムでは、「地方自治体 xSDG」をテーマに議論を行います。自治体で SDGs を推進するカギは何か？ビジネスチャンスを生み出すには SDGs をどうとらえればよいのか？SDGs をめぐるコラボレーション創出はどう行えばよいのか？国谷裕子特別招聘教授 (同大学大学院政策・メディア研究科) のナビゲーションで、課題とコラボレーションの可能性を明らかにします。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

日時：2018年2月13日 (火) 13:00-17:00  
場所：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール  
106-0032 東京都港区六本木 5-11-16  
<http://www.i-house.or.jp/access.html>



■ プログラム (予定)

【ご挨拶】

鈴木 秀生 (外務省地球規模課題審議官 大使)

【講演 1】

「xSDG : SDGs の核心にせまり、革新する」  
蟹江 憲史 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)

【講演 2】

「システム思考に基づく持続可能な開発目標 (SDGs) の統合化」  
武内 和彦  
(東京大学サステナビリティ学連携研究機構機構長・特任教授、  
公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長)

【講演 3】

黒岩 祐治 (神奈川県知事) ※予定

【講演 4】

「地方創生に向けた自治体 SDGs の推進について」  
岡本 直之 (内閣府地方創生推進事務局次長)

【パネルディスカッション】

ナビゲーター：国谷 裕子（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授）

<第一部>

「SDGs で解決したい自治体の課題は何か？何が問題なのか？」

田辺 信宏（静岡市長）

谷岡 慎一（豊岡市政策調整部参事）

箕島 豪（北海道下川町環境未来都市推進課 SDGs 推進戦略室長）

笥 裕介（issue+design 代表）

黒田 かをり（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

<第二部>

「SDGs でどう課題解決をすればよいのか？今後のアクションはどうすればよいのか？」

そのための課題は何か？自治体とどう連携すればいいのか？」

磯野 久美子（自然電力グループ juwi 自然電力オペレーション株式会社代表取締役）

笥 裕介（issue+design 代表）

黒田 かをり（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

森田 隆之（日本電気株式会社取締役 NEC 執行役員常務 兼 CGO（チーフグローバルオフィサー））

蟹江 憲史（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

【閉会挨拶】

村井 純（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長、環境情報学部教授）

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。

※シンポジウム終了後、レセプション（会費制 3,000 円）を行いますので、ぜひご参加ください。

**参加方法**：参加をご希望される方は、ウェブサイト <http://xsdg.jp/> の登録フォームより、  
**事前の参加お申込みをお願いいたします。**（定員 150 名予定、申込先着順）

【本件のお問合せ先】

慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ事務局

[xsdg@sfc.keio.ac.jp](mailto:xsdg@sfc.keio.ac.jp)

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

[kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)

TEL: 0466-49-3436

FAX: 0466-49-3594